

輸出事業計画

※申請者名：男山株式会社、品目：清酒（日本酒）、ビール、ジン、梅酒

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・日本酒の国内需要は停滞する一方、近年は米国を中心に海外における需要は拡大。
- ・1980年代から清酒（日本酒）の輸出を開始。近年、他社参入により市場競争が激化。
- ・輸出先国における食品安全規制強化を受け、顧客からFSSC22000認証を求められ、2019年5月に同認証を取得。
- ・現在、米国、韓国、台湾、中国、香港等、世界20カ国に清酒（日本酒）を輸出している。

【課題】

①製造

- ・酒蔵の老朽化に伴うFSSC22000認証、品質・衛生管理体制の維持困難
- ・清酒（日本酒）、ビール、ジン、リキュール（梅酒）製造に伴う安定的な原料調達

②販売

- ・競争激化の環境下における国際競争力の強化。
- ・輸出先国ごとの輸出規制にす対応。

2. 輸出事業計画の取組内容

①製造

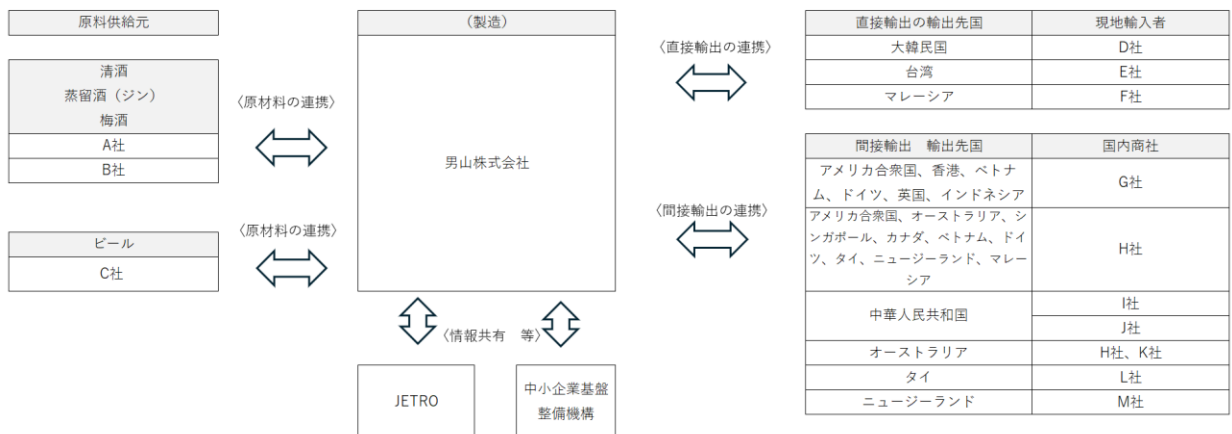
- ・品質・衛生管理の専門家の指導により、施設の新設並びに当該新施設における最新の品質・衛生管理体制の構築及びFSSC22000認証を取得することにより、安定的かつ持続可能な輸出向け製造ラインを確立する。
- ・原料調達について、取引先との連携により、安定的な調達体制を構築する。

<米> 清酒（日本酒）・ジン・梅酒の原料
 北海道内米卸 2社
 <大麦、ホップ等> ビールの原料
 食品原料メーカー 1社

②販売

- ・卸売業者、輸入者等との連携強化・ネットワークの活用により、マーケットイン・マーケットメイクの発想で清酒（日本酒）、ビール、ジン、梅酒の製造・流通体制の整備、マーケティング、販路拡大、ブランド力強化等に取り組み、国際競争力の強化を図る。
- ・輸入国規制（容量規制、食品安全基準、ラベル規制等）に対応した商品開発と製造体制の整備。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



【PDCAサイクルの運用】

- Plan：輸出目標、国別戦略、品質体制整備計画の策定
- Do：製造・品質管理・販路開拓の実行、規制対応
- Check：四半期ごとの輸出货量・品質・市場データを評価
- Act：生産計画、販路戦略、品質改善案の見直し

4. 輸出目標額

旭川市 男山株式会社		現状 (令和7年度6月期)	目標年 (令和14年度6月期)
清酒 (日本酒)	輸出額 (千円)	173,262	331,800
	輸出量 (KL)	141.125	284.47
	輸出先国	米国、韓国、台湾、中国、香港、オーストラリア、シンガポール、カナダ、ベトナム、ドイツ、タイ、イギリス、ニュージーランド、マレーシア	米国、韓国、台湾、中国、香港、オーストラリア、シンガポール、カナダ、ベトナム、ドイツ、タイ、イギリス、ニュージーランド、マレーシア、インドネシア
ビール	輸出額 (千円)	0	135,520
	輸出量 (KL)	0	129.3
	輸出先国	—	米国、台湾、中国、香港、オーストラリア、シンガポール、ベトナム、ドイツ、タイ、イギリス、ニュージーランド、インドネシア
ジン	輸出額 (千円)	0	12,000
	輸出量 (KL)	0	2.16
	輸出先国	—	米国、台湾、香港、シンガポール、ドイツ、イギリス、
梅酒	輸出額 (千円)	0	63,900
	輸出量 (KL)	0	30.67
	輸出先国	—	米国、韓国、台湾、中国、香港、オーストラリア、シンガポール、カナダ、ベトナム、ドイツ、タイ、イギリス、ニュージーランド、マレーシア、インドネシア
合計	輸出額 (千円)	173,262	543,220
	輸出量 (KL)	141.125	446.6
	輸出先国	米国、韓国、台湾、中国、香港、オーストラリア、シンガポール、カナダ、ベトナム、ドイツ、タイ、イギリス、ニュージーランド、マレーシア	米国、韓国、台湾、中国、香港、オーストラリア、シンガポール、カナダ、ベトナム、ドイツ、タイ、イギリス、ニュージーランド、マレーシア、インドネシア